

APNICから見た IPv4 アドレス移転 (IPv4 Transfer from APNIC's perspective)

最新動向

Sanjaya – Operations & Services Director

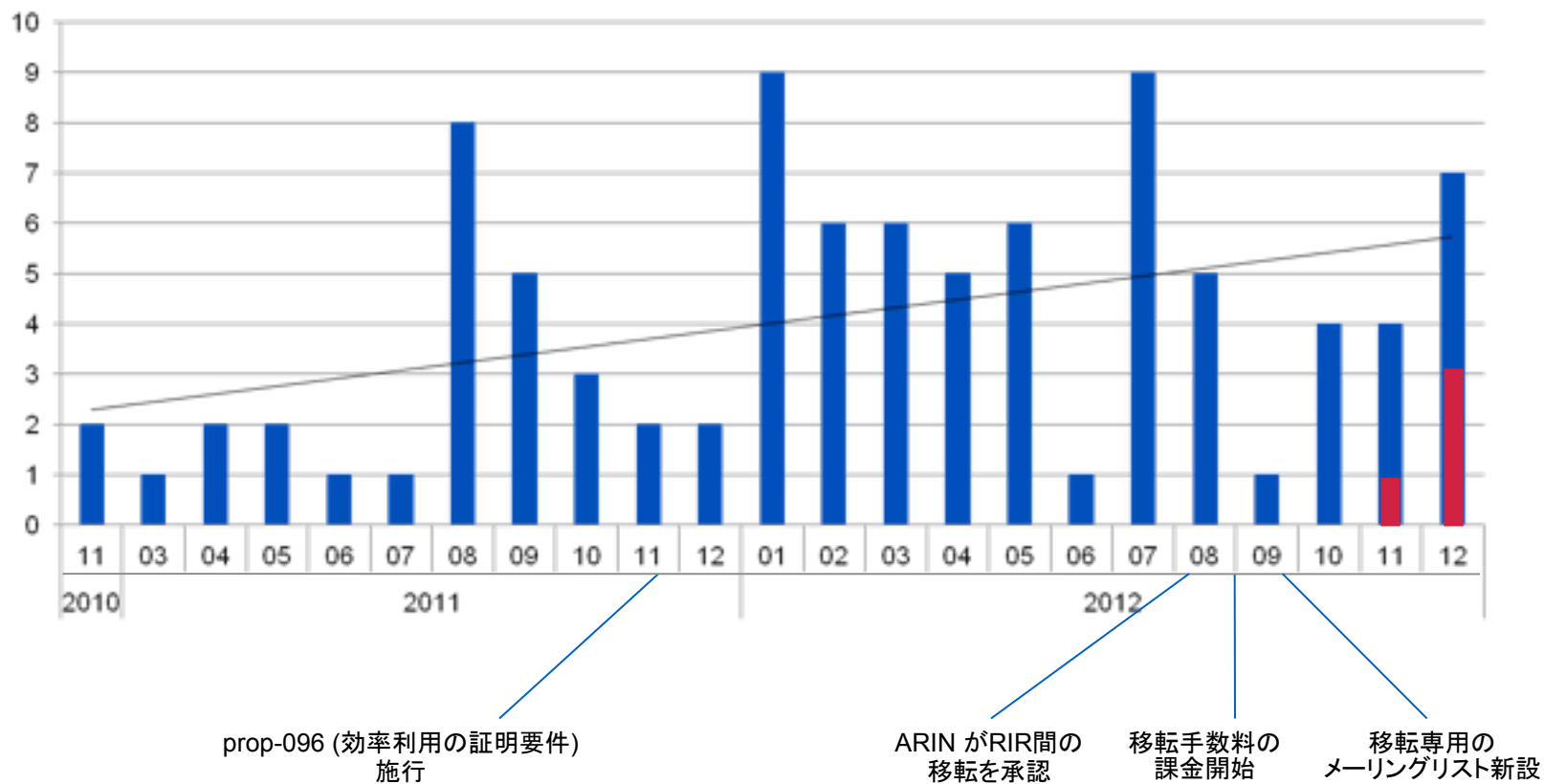
概要

- APNICのIPv4アドレス移転サービス
- ポリシー/施行に伴う移転傾向への影響
 - 移転履歴からの考察
- 経済圏別の移転統計
- レジストリ間の移転の実績
- 特筆すべき考察

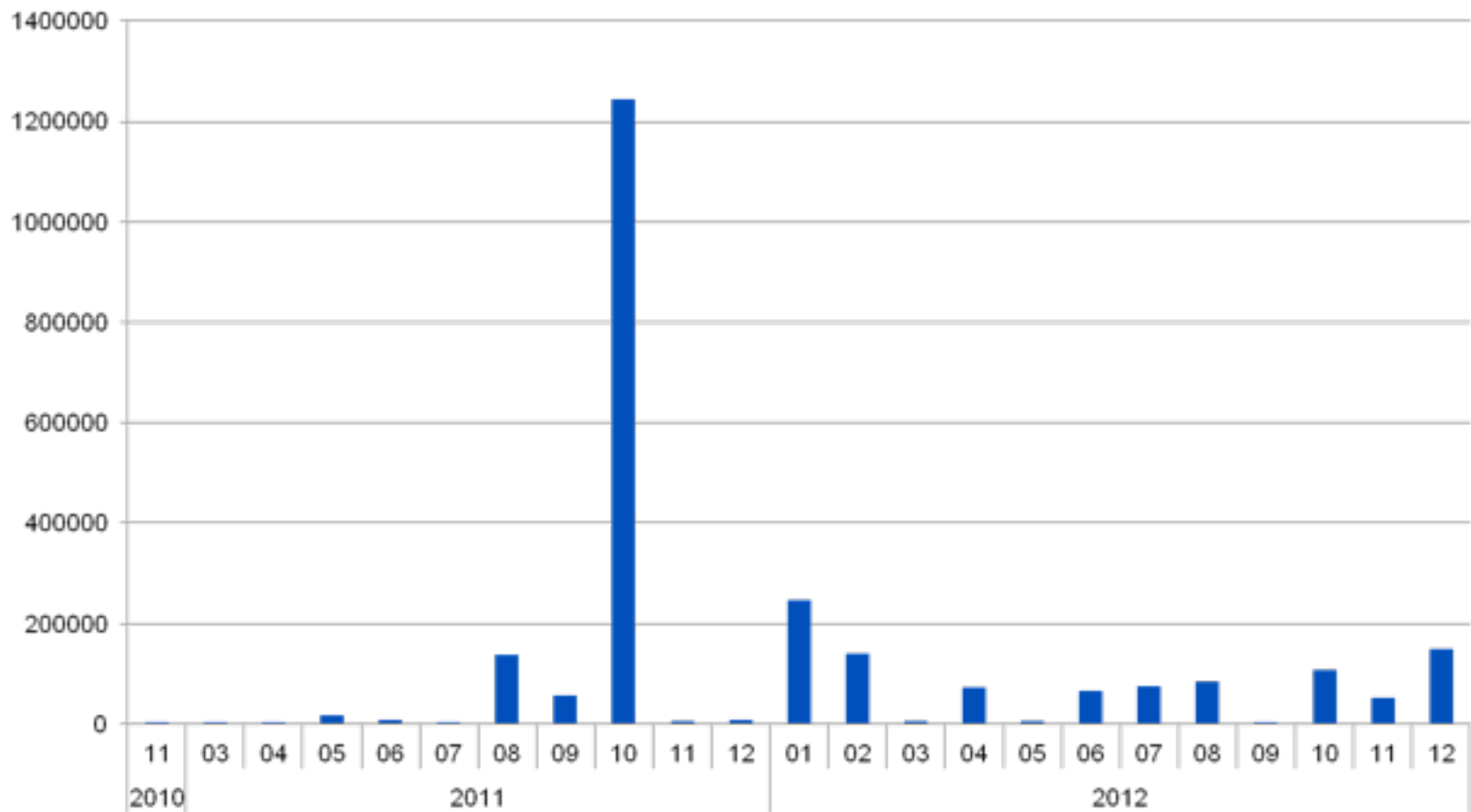
IPv4 アドレス移転サービス

- RIR(APNIC)内外の移転に対応
- Pre-approval service(事前承認サービス), 24ヶ月分の需要まで承認(prop-104)
 - 事前承認先リスト公開 (任意)
- ブローカーリスト、現在4組織登録
- apnic-transfers@apnic.net のメーリングリスト
- 移転履歴の公開
- 移転手数料の適用
 - 移転ブロックサイズに該当する会費額の20% (その他保有アドレスは課金対象外)
 - 移転先へ課金、またはAPNIC地域外との移転の場合は移転元

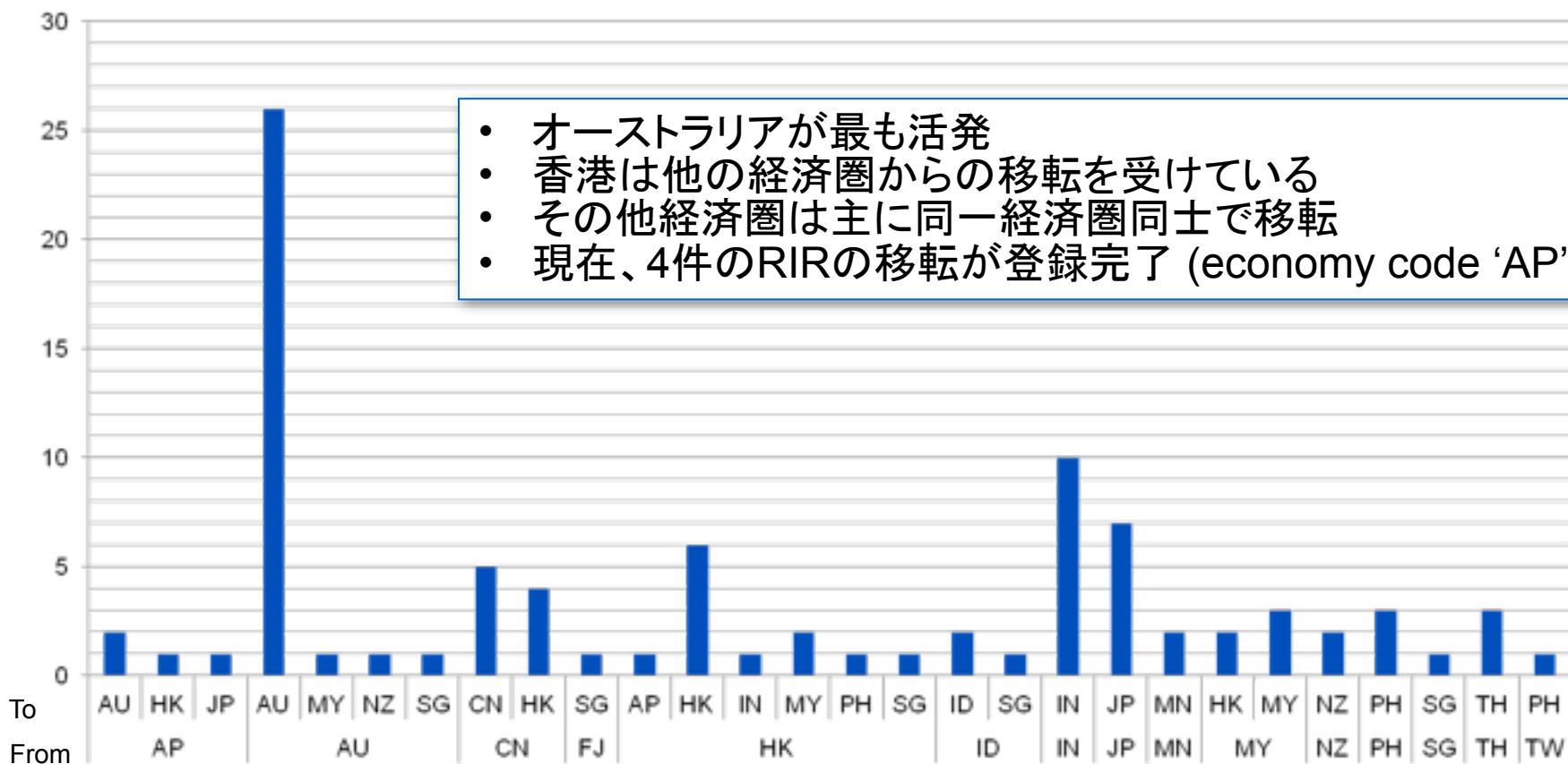
ポリシー/施行変更の影響



移転サイズ (はっきりした傾向はない)

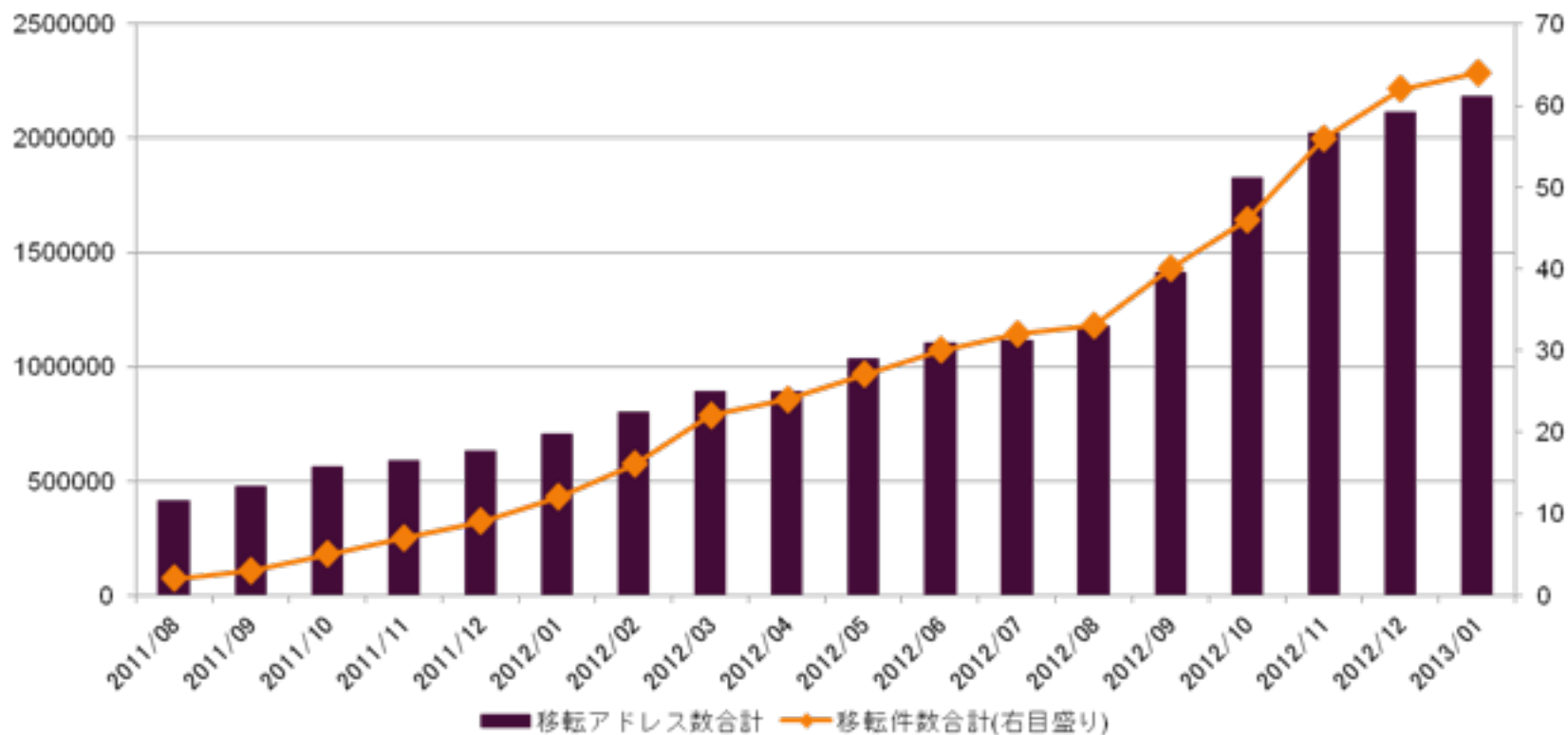


経済圏別の移転の動き



- オーストラリアが最も活発
- 香港は他の経済圏からの移転を受けている
- その他経済圏は主に同一経済圏同士で移転
- 現在、4件のRIRの移転が登録完了 (economy code 'AP')

JPNIC管理下の移転統計



RIR間の移転の実績

- 完了済: 4
- 処理中: 3
- 移転完了までの期間 (審議含む): 1 – 2 週間
- 運用中のネットワークの移転に成功
- ARIN & APNIC の統計は時差により移転後1日重複する

特筆すべき考察

- 一定の企業のグループはお互い同士で移転を回している
- (新規の会員となり)最後の/8の割り振を受け、即時に移転する試みがある
- ルーティングの問題解決のためにレジストリ間の移転を申請？

詳しい情報は？

<http://www.apnic.net/transfer>

ありがとうございました！